

約 12 年間の鴻巣市議の経験と実績を県政に反映し、福祉政策の交付金を鴻巣市に下ろせるようにするため、鴻巣市のために県議選に挑戦します。

全 43 号

おだきょん通信 12年の実績



気づいたら 43 号までになっていました！

市民のみなさまからの「困りごと」「県や市への要望」は常に**全体の 90%ほどを実現**してきたと自負いたしております。

これらのことは、おだきょん通信で取り上げてお知らせしてまいりました。**皆様からいただいた要望で私は育てていただき成長させていただきました。**

本当にありがとうございます！！

これまで、この通信の発行にやりがい、愛着を感じてまいりました。今後、県議になっても事務所での市民相談は継続して行います。おだきょん通信の発行も変わることはありません。どうぞ、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

おだ京子プロフィール

生年月日	昭和 28 年 4 月 10 日
出身地	福島県福島市
現住所	鴻巣市宮地 1-2-31
昭和 49 年	桜の聖母短期大学英語科卒業
昭和 53 年～	3 児の母として主婦業に専念
平成 7 年	鴻巣市立北中学校 P T A 副会長
平成 14 年	鴻巣市議補選初当選
平成 15 年	2 期目当選
平成 18 年	文部福祉常任委員会委員長
平成 19 年	3 期目トップ当選
〃	市議会副議長
平成 21 年	県消防協会表彰
〃	議会運営委員会委員長
平成 23 年	4 期目トップ当選
平成 24 年	地方自治功労賞受賞
平成 26 年	全国議長会 10 年表彰

福祉施設ボランティア活動・日本舞踊師範
埼玉県親学アドバイザー資格・抒情歌指導
自由民主党鴻巣支部女性部長



討議資料

おだきょん通信 12年の実績 (2002.06～2015.01.15)

 <p>■創刊号 平成14(2002)年6月発行 21世紀は女性の世紀、男女共同参画社会の確立を！</p>	 <p>■第2号 平成14(2002)年11月発行 予防医学の必要性 駅東口、自家用車の送迎対策。</p>	 <p>■第3号 平成15(2003)年1月発行 ゴミ袋がやぶけやすくなったのはなぜ？ 学校の安全管理。</p>	 <p>■第4号 平成15(2003)年4月発行 東口駅前の免許証教習所の呼び込みの騒音対策。</p>	 <p>■第5号 平成15(2003)年8月発行 あしたば作業所の増設 公民館にベビーシートの設置。 校庭の芝生化を要請。</p>	 <p>■第6号 平成15(2003)年10月11日発行 高齢者福祉サービス。 商店街の活性化対策。</p>
 <p>■第7号 平成16(2004)年2月10日発行 「児童福祉法」と「児童虐待防止法」。</p>	 <p>■第8号 平成16(2004)年4月10日発行 在宅介護支援。 高齢者緊急通報システムの通知。</p>	 <p>■第9号 平成16(2004)年7月発行 住民基本台帳カードの使い方。 児童虐待防止対策。</p>	 <p>■第10号 平成16(2004)年10月11日発行 市立図書館を使いやすく改善する。 クリアこうのすの壁際のいすを取って通路にして災害対策を。</p>	 <p>■第11号 平成17(2005)年1月発行 新潟中越地震から学んだこと。 鴻巣市の防災の強化を。</p>	 <p>■第12号 平成17(2005)年4月発行 こども医療の窓口払いを現物支給に。</p>
 <p>■第13号 平成17(2005)年7月15日発行 うんどう遊園の増設を。 びっくりひな祭り第1回が市役所で開催されました。</p>	 <p>■第14号 平成17(2005)年10月15日発行 「たばこのポイ捨て禁止条例」の必要性。 1市2町で合併し、新鴻巣市が誕生しました。</p>	 <p>■第15号 平成18(2006)年1月15日発行 障害者自立支援法が4月から実施されます。 市の決算カードをわかり易く開示すること。</p>	 <p>■第16号 平成18(2006)年4月15日発行 カラー(2色)印刷で文字が大きくなり読み易くなりました。 図書館をオンライン化に。</p>	 <p>■第17号 平成18(2006)年7月15日発行 15歳までの医療費の無料化。 三谷橋大間線JR下トンネル工事。</p>	 <p>■第18号 平成18(2006)年10月25日発行 吹上地区に学童保育室を。 国保加入者の出産育児一時金が10月1日から実施されます。</p>
 <p>■第19号 平成19(2007)年1月10日発行 保育所の預り条件の改定を。 担任といきいき先生・さわやか相談員さんとの連携を強化する事の必要性。</p>	 <p>■第20号 平成19(2007)年3月25日発行 給食に食物アレルギーの対策を。 14号で取り上げた「ポイ捨て禁止条例」の途中経過の報告。</p>	 <p>■第21号 平成19(2007)年7月18日発行 駅東口再開発。 荒川左岸通線延伸計画。</p>	 <p>■第22号 平成19(2007)年10月10日発行 公共施設の有料化。免除の対象は。 駅ビル「エルミこうのす」オープン。</p>	 <p>■第23号 平成20(2008)年1月15日発行 上尾道路建設促進。議員連盟が鴻巣・北本の有志議員で設立されました。妊婦検診の料金が5回まで無料となる。</p>	 <p>■第24号 平成20(2008)年4月10日発行 「NPO法人 埼玉教育支援センター」の協力を得て、教育相談を始めます！主に発達障児が対象です。</p>
 <p>■第25号 平成20(2008)年7月30日発行 おだきょん事務所の川里地区市民相談所を開設。 水道代の値上げ、低所得者への配慮のお願い。</p>	 <p>■第26号 平成20(2008)年10月30日発行 手話通訳派遣事業を使い易いものに。コミュニティーバスについて。私が提出した「障害者就労支援センター」が議決される。</p>	 <p>■第27号 平成21(2009)年1月30日発行 ひなや歴史資料館を人形資料館にする理由とは。20号で取り上げた給食の食物アレルギーに取り分け食、代替食、マニュアルを作ってもらいました。</p>	 <p>■第28号 平成21(2009)年4月30日発行 市長他、給料の10%カット延長。 職員の地域手当を1%引下他。</p>	 <p>■第29号 平成21(2009)年11月1日発行 「コウノトリを育てる会」で署名運動を開始しました。 中央図書館がアネックスビルの1Fに入ります。</p>	 <p>■第30号 平成22(2010)年1月20日発行 新年の抱負と女性のお話し。 猫の糞害条例の制定を！ 民生委員の仕事の軽減を！ プレミアム商品券の経済効果？</p>
 <p>■第31号 平成22(2010)年4月10日発行 市長に立候補することを決めました。市民の為の行政が理由です。</p>	 <p>■第32号 平成22(2010)年6月1日発行 市長選立候補のため議員を辞職しました。</p>	 <p>■第33号 平成22(2010)年6月5日発行 市民の皆様へお礼とお知らせ。女性の力で盛り上げていきます！</p>	 <p>■第34号 平成22(2010)年10月25日発行 市長選挙に応援していただき本当に有難うございました。おだきょん事務所移転のお知らせ。</p>	 <p>■第35号 平成23(2011)年1月24日発行 4月には初心に戻り元の立場に戻れるように頑張ります。ぜひ応援してくださいね。親学アドバイザーの資格取得。</p>	 <p>■第36号 平成23(2011)年7月1日発行 6月に「子ども達を放射能汚染から守る会」を発足。4月の市議選トップ当選。以前から要望していたコンビニ集納が決まる。コミュニティーバス プラワー号の一日券の料金が安くなる。</p>
 <p>■第37号 平成23(2011)年10月11日発行 「情報さいたま」に私の記事。鴻巣市内の放射線量測定。子宮頸がんワクチンの問題点。</p>	 <p>■第38号 平成24(2012)年1月25日発行 シネマックスこうのす閉館。「子ども達を放射能汚染から守る会」では放射線測定器の貸出を始めました。</p>	 <p>■第39号 平成24(2012)年5月22日発行 私が訴えてきた「小学校の給食は自校式で」が決まりました。</p>	 <p>■第40号 平成24(2012)年10-11月発行 こうのすシネマを市で運営することに決定。ポリオワクチンを定期予防接種として無料化に。小中学校のいじめ対策。</p>	 <p>■第41号 平成25(2013)年1月30日発行 12月の衆議院選挙で自民党大勝。滝馬室の通学路を半年がかりで一方通行にしました。</p>	 <p>■第42号 平成25(2013)年10月発行 議会のインターネット中継始まる。子宮頸がんワクチンの危険性を訴える。市でも勧奨中止になる。本市の接種率1/10に。</p>
 <p>■第43号 平成27(2015)年1月15日発行 自民党の公認をいただくことができました。4月の地方統一選挙は、県議会に出馬いたします。駅東口ロータリーから松山新道踏切までの道路を通るバスの要望をバス会社が承認してくれ、一方通行となる。通りの家の振動も少なくなり通行も安全になりました。</p>	 <p>●鴻友会会報 創刊号 平成25(2013)年7月3日発行 鴻友会提案で議員報酬を引下。子宮頸がんワクチンについて一般質問。</p>	 <p>●鴻友会会報 第2号 平成26(2014)年1月20日発行 市民の安全を守る！駅のそば～踏切まで、路線バスコースの変更を。</p>	 <p>●鴻友会会報 第3号 平成27(2015)年1月25日発行 政策総務常任委員会の報告。私が「手話言語法」制定を求める意見書を提出。議決される。</p>		

おだ京子は約束します！

鴻巣市の発展のため、国と県と市が連携していくパイプ役になります。

医療・福祉・介護・子育て 支援の県と市の連携。

- これらの問題は、国、県、市が連携して対処しています。県で決められる事が多く、交付金も県から来ます。
ですから、県と市が連携し、市民が安心して暮らせるようにして行きたいと思います。
- 女性ならではの、きめの細かい観点から物事を見据えて、これらの問題に**本当に必要な事**を実現してまいります。



現場の声を届けるために 女性の県議を増やしましょう。



- 県議会は今現在自民党 49 人のうち、**女性の県議は 1 人しかおりません**。男女共同参画で、県議会を運営していくにはあまりにも女性が少なすぎます。
- 介護や看病、子育て経験者は女性が圧倒的に多い。**本当に必要な事**がわかるのは女性です。

市に必要なものを熟知している 市議会議員を県議会に送りませんか？

- 市議会議員の経験でわかった鴻巣市の現状
 - ・働きながら子育てをしている方に何が必要なのか。
 - ・高齢化に伴う介護の問題は、何をしなければいけないのか。
 - ・いじめや道徳教育はどうしていけばいいのか。
 - ・鴻巣市に必要な医療の形態は何なのか。

約 1 2 年間の市議の経験と実績を県政に反映してまいります。



おだきょん通信制作事情

実は、おだきょん通信の制作は、後援会の応援のもとおだ京子本人がワードでページメイクしています。印刷もおだ京子がリソグラフで印刷し、ポストイングはボランティアのみな様をお願いして私も一緒に配布しています。このようにして 12 年、43 号発行しました。今後も、おだきょん通信を発行できるように私を応援してください。

京子フォーラム後援会事務所 「県政に女性議員を送る会」

〒365-0028 鴻巣市鴻巣 1066-1

Tel: 048-543-8622 Fax: 048-543-8625

ホームページ: <http://odakyon.com>

メール: odakyon@amber.plala.or.jp